

平成22年度決算を審査 下水道事業特別会計決算を不認定

今定例会では、市長から平成22年度の一般会計及び7特別会計決算の認定議案が提出されました。

決算等審査特別委員会での審査

議会は、9月12日の本会議において、各会派から選出された委員10名からなる平成22年度鎌倉市一般会計歳入歳出決算等審査特別委員会（以下「特別委員会」という）を設置し、以後4日間にわたり、付託された8議案について、予算審査における議会の指摘事項の反映状況、第3次鎌倉市総合計画第2期基本計画中期実施計画の諸施策の遂行状況などを中心に、担当部課への質疑とともに、重要課題については市長にたずすなど、詳細な審査を行いました。

本会議において委員長からの審査結果報告、討論・採決

9月30日の本会議において、委員長から審査経過及び結果が報告され、決算議案に対し、次の4つの意見が付けられました。

○防災力・消火力のさらなる強化を図るとともに、地域の消防防充実に向け、一層の支援を行うこと。

○実施計画に位置付けられている小児医療費の助成の拡大について、財政状況等を勘案し、その方向性の堅持に努めること。

○地域福祉の仕組みを広げ、共助の町鎌倉の推進に向けた体制構築に努めること。

○小町通り電線共同溝設置等委託事業について支障物件に関する調査を速やかに行い結



決算等審査特別委員会の審査風景

果を議案に報告するとともに、所有者の調査も実施し、判明した際はしかるべき対応を図ること。同時に、各職員の業務内容及びその進捗状況の共有を行い、職場全体で業務を進められる環境づくりに取り組むこと。

その後、6会派から討論として決算議案に対する賛否の意見が表明され、引き続き採決を行った結果、下水道事業特別会計決算を少数の賛成により不認定、一般会計及び後期高齢者医療事業特別会計決算を多数の賛成により認定、大船駅東口市街地再開発事

議決された 主な議案

今定例会では、市長から30件の議案が提出されました。主な議案の内容は次のとおりです。

条例の制定

鎌倉市公正な職務の執行の確保に関する条例

これまで本市では、市民等からの要望、提案、意見などへの対応については、その取り扱いは基盤がなかったため、要望等に対して、職員がとるべき措置及びその記録等の手続について必要な事項を定めようとするもので、公布の日

業、国民健康保険事業、老人保健医療事業、公共用地先行取得事業及び介護保険事業特別会計決算を総員の賛成により認定しました。

大船駅西口整備事業により建設された複合施設のうち、大船駅西口交通広場を構成するバスターミナルと歩行者用通路の設置及び管理について必要な事項を定めようとするもので、本年10月1日から施行しようとするものです。

鎌倉市大船駅西口交通広場条例

大船駅西口整備事業の実施に伴い建設された自転車等駐車場について、指定管理者制度の導入及び導入までの間、市直営による開設を行うため、その設置及び管理に必要の事項を定めようとするもので、公布の日から起算して一月を超えない範囲において規則で定める日から施行しようとするものですが、指定管理者による管理及び指定管理者の指定に関する規定については、公布の日から施行しようとするものです。

鎌倉市図書館振興基金条例

鎌倉市図書館が百周年を迎えたことを契機として、郷土資料をはじめとする貴重な資料の収集、保存及び保管並びに図書館設備の充実等、図書館事業の振興の財源に充てるための基金を設置し、その管理に必要の事項を定めようとするもので、公布の日から施行しようとするものです。

から施行しようとするものです。

鎌倉市暴力団排除条例

本市での暴力団排除を推進することにより、安全で安心して暮らすことができる社会の実現に資することを目的とするもので、平成24年1月1日から施行しようとするものです。

鎌倉市大船駅西口交通広場条例

大船駅西口整備事業により建設された複合施設のうち、大船駅西口交通広場を構成するバスターミナルと歩行者用通路の設置及び管理について必要な事項を定めようとするもので、本年10月1日から施行しようとするものです。

鎌倉市自転車等駐車場条例

大船駅西口整備事業の実施に伴い建設された自転車等駐車場について、指定管理者制度の導入及び導入までの間、市直営による開設を行うため、その設置及び管理に必要の事項を定めようとするもので、公布の日から起算して一月を超えない範囲において規則で定める日から施行しようとするものですが、指定管理者による管理及び指定管理者の指定に関する規定については、公布の日から施行しようとするものです。

鎌倉市図書館振興基金条例

鎌倉市図書館が百周年を迎えたことを契機として、郷土資料をはじめとする貴重な資料の収集、保存及び保管並びに図書館設備の充実等、図書館事業の振興の財源に充てるための基金を設置し、その管理に必要の事項を定めようとするもので、公布の日から施行しようとするものです。

鎌倉市特定土地利用における手続及び基準等に関する条例

墓地、動物霊園及びコインパーキングなど、土地そのものの利用を主たる構成要素とする土地利用行為については、都市計画法等の手続や基準が存在しなかったため、これまで指導要綱により規制指導を図ってきましたが、その実効性を高め適正な土地利用を確保するため条例化し、必要な事項を定めようとするもので、平成24年4月1日から施行しようとするものです。

鎌倉市まちづくり条例

計画的な土地利用と市民参画によるまちづくりを推進するため、これまでの条例の施行状況の検証、検討を踏まえ、市民、事業者及び市の協働によるまちづくりを一層充実させるよう、条例の改正を行うこととするもので、章の入れ替え等を行うことに伴い、これまでの条例の全部を改正し、新たに制定しようとするもので、平成24年4月1日から施行しようとするものです。

鎌倉市まちづくり条例

補正予算

災害弱者用備蓄品の購入等に係る経費、寺分保育園営業化に係る引き継ぎ保育委託料、名越クリーンセンター長寿命化計画策定委託に係る経費、玉縄中学校エレベーター設置費及び図書館基金創設に伴う寄附金等積立金などを追加上して、小町通り電線地中化に伴う景観舗装工事費及び大船駅東口エレベーター等整備事業に伴う経費などを減額するもので、歳入歳出いずれも1億6480万円を減額し、補正後の総額は567億7000万円となります。

一般会計補正予算(第7号)

腰越保育園耐震改修工事の設計業務委託に係る経費として歳入歳出いずれも370万円を追加するもので、補正後の総額は567億4400万円となります。

一般会計補正予算(第6号)

災害弱者用備蓄品の購入等に係る経費、寺分保育園営業化に係る引き継ぎ保育委託料、名越クリーンセンター長寿命化計画策定委託に係る経費、玉縄中学校エレベーター設置費及び図書館基金創設に伴う寄附金等積立金などを追加上して、小町通り電線地中化に伴う景観舗装工事費及び大船駅東口エレベーター等整備事業に伴う経費などを減額するもので、歳入歳出いずれも1億6480万円を減額し、補正後の総額は567億7000万円となります。

一般会計補正予算(第7号)

腰越保育園耐震改修工事の設計業務委託に係る経費として歳入歳出いずれも370万円を追加するもので、補正後の総額は567億4400万円となります。

一般会計補正予算(第6号)

災害弱者用備蓄品の購入等に係る経費、寺分保育園営業化に係る引き継ぎ保育委託料、名越クリーンセンター長寿命化計画策定委託に係る経費、玉縄中学校エレベーター設置費及び図書館基金創設に伴う寄附金等積立金などを追加上して、小町通り電線地中化に伴う景観舗装工事費及び大船駅東口エレベーター等整備事業に伴う経費などを減額するもので、歳入歳出いずれも1億6480万円を減額し、補正後の総額は567億7000万円となります。

一般会計補正予算(第7号)

腰越保育園耐震改修工事の設計業務委託に係る経費として歳入歳出いずれも370万円を追加するもので、補正後の総額は567億4400万円となります。

副市長の選任

次の方を鎌倉市副市長に選任することについて、議会で多数で同意しました。

大谷 雅実氏（常盤在住）
平成23年5月1日に国土交通省職員から鎌倉市職員となり、本市の政策創造担当担当部長を務めました。
任期は、平成23年10月1日から4年間です。

公平委員会委員の選任

公平委員会委員の任期満了による後任者として、引き続き次の方を選任することについて、議会で総員で同意しました。

堀内 俊一氏（雪ノ下在住）
任期は、平成23年10月29日から4年間です。

本会議・委員会映像 公開中です！

鎌倉市議会のホームページから、本会議及び各常任委員会等の生中継、録画映像を見ることができます。

鎌倉市議会ホームページはこちら！

<http://www.city.kamakura.kanagawa.jp/gikai/index.html>

または、

編集後記

東日本大震災及び福島第一原子力発電所事故の影響で日本は大きなダメージを負いました。加えて、台風12号により西日本を中心に大きな被害を受けました。お亡くなりになられた方々のご冥福をお祈り申し上げるとともに、被害に遭われた方々にお見舞い申し上げます。

議会広報委員会

昨日、政府の中央防災会議の専門調査会において「津波発生から5分以内に避難できる町にすべき」という提言がなされることや東大地震研究所は「今後30年間、首都圏で直下型地震が起きる可能性が98%になる」と予測していることが報道されました。どのようにして鎌倉市民の生命・財産を守るか、自助・共助・公助の分担をどのようにすべきかなど、災害対策が喫緊の課題となりました。議員として何ができるか、自問自答する日々が続いています。

- 委員長 長嶋 竜弘
- 副委員長 西岡 幸子
- 委員 飯野 眞毅
- 委員 久坂くにえ
- 委員 渡邊昌一郎
- 委員 小田嶋敏浩
- 委員 太田 治代